

全国の大学生ら
名古屋で能披露

宝生会定式能に合わせ

名古屋宝生会定式能の公演に合わせ、全国の宝生流の能楽クラブで活動する大学生が成果を披露する全国宝生流学生能楽連盟名古屋大会が二十三日と二十四日に名古屋能楽堂である。

四都市で順番に毎年開催され、名古屋で四年ぶり。東京、京都、金沢、早稲田、慶応などの学生が素謡、仕舞、舞囃子、連吟などを披露。地元から愛知県立大、愛知教育大の学生のほか、向陽高、名東高の高校生も特別に出演する。

学生の公演は両日とも午前九時半開演で無料。二十四日午後一時からの定式能は5000円。宗家の宝生和英が「藤」、衣斐愛が「俊成忠度」を演じる。母校の向陽高で有志を指導する能楽師、内藤飛能は「定式能は宗家の終始しつとりとした美しい舞が見どころ。学生さんのフレッシュな謡や動きも楽しんで」と話している。◎名古屋宝生

会 ☎電 052 (882) 5
600 (栗山真寛)